

2012年(平成24年度) ファーム青葉 第1グループ(第三谷本農園) 春野菜作付・施肥要領

ハウス側より

12.0 m

1番目通路 2番目通路 3番目通路

肥料必要量

作付の要領	なす	トマト	キュウリ	とうもろこし	とうもろこし	隱元	枝豆	大根	ニンジン	ピーマン・しし唐
長さ 22.5m	畝幅(m)	2.5m	1.5m	2.5m	1.2m	1.2m	1.2m	2.0m	2.0m	2.0m
	端から畝の中心まで(m)を測量する→	1.25m	3.25m	5.25m	7.1m	8.30m	9.8m	11.15m	中央	中央
	畝の中の列	1列 中央	2列	2列	2列	2列	2列	3列	7列	2列と中央
	個人区画総株数 (2.5m)	2+1本	5x2本	2x2本	7x2本	7x2本	6x2本	14x3本		54本
	株間・マルチの種類	80cm 黒 穴なし	50cm 黒 穴なし	110cm 黒 穴なし	30cm 9230B 2穴並行	30cm 9230B 2穴並行	35cm 9235B 2穴千鳥	15cm — 3列 高畝	クリン・シーダー 7列	70cm 黒 穴なし

土づくり 元肥・要素肥料 (315m ³) (ミネカルは なす、トマト、キュウリを中心に撒く)										
堆肥	完熟牛ふん堆肥 各組(315m ³) の部分を 6等分し、コンテナ2個(28kgx2)を各区割に全面均一に撒き、レイキでならす。 約 1kg/1m ³ となる。									
要素	ミネカル 20 Kg X 6 各組 6等分のハウス側3区割なす、トマト、キュウリを中心に全体に撒く2袋ずつを均一に撒く									
1. 硫マグ 2. BM重焼燐 3. タイニー 4. 畑のカルシュウム の4種類の要素肥料は各区画グループで(約60g/m ²) 各々一袋(20Kg)ずつを舟に入れ、良くかき混ぜ、各区画グループで(1-9) (11-19) (21-29) で均一に撒く(通路部分を含む)										

肥料名	N-P-K	Kg	袋数
横浜軟弱 NP+CDU	15-12-0	40	2
タイニー		60	3
BM苦土重焼燐	0-35-0	60	3
硫酸マグ25		60	3
鶏ちゃんパワー	4-3-2	60	4
ミネカル	転炉スラ	360	18
魚粉肥料	7-6-0	33	3
菜種油粕	5.3-2-1	33	3
ナス・キュウリ配合	9-8-8	80	4
トマト有機配合	7-8-8	40	2
トマト有機配合	7-8-8	40	2

施肥の要領(各列)	なす	トマト	キュウリ	とうもろこし	とうもろこし	隱元	枝豆	大根	ニンジン	ピーマン・しし唐
作物一列あたりの 作付け面積(m ²)	56.25m ²	33.75m ²	56.25m ²	27.0m ²	27.0m ²	27.0m ²	42.75m ²	45.00m ²	45.00m ²	45.00m ²
	元肥 N・P・K (g/1m ²)	15・25・15	15・25・15	13・13・11	15・15・15	15・15・15	5・12・5	9-20-8	9-20-8	15・25・15
	必要N量(g)	844g	507g	732g	405g	405g	135g	405g	405g	675g
溝肥	鶏ちゃんパワー	2.5Kg	2.5Kg	2.5Kg						2.5Kg
	各野菜の配合肥料	5.0Kg	6.6Kg	5.0Kg						5.0Kg
	魚粉肥料	3.3Kg	3.3Kg	3.3Kg						3.3Kg
表肥	横浜軟弱 NP+CDU				3.0Kg	3.0Kg	1.0Kg	5.0Kg	5.0Kg	
	鶏ちゃんパワー	2.5Kg	2.5Kg	2.5Kg						2.5Kg
	各果菜の配合肥料	5.0Kg	6.6Kg	5.0Kg						5.0Kg
	セルカ(有機石灰)			5.0Kg						
	菜種油粕	3.3Kg	3.3Kg	3.3Kg						3.3Kg

表肥

土

トラクター
より 深く
30cm 以
上 掘る

溝肥

配合肥料・魚粉
棒で引きずって
ぼかす。

各畝、マメトラで溝掘り後、鍬などでさらに深く掘る。

魚粉肥料 なす ピーマン
トマト
キュウリ